

感染対策室ニュース



大阪南医療センター
2026年7月29日発行



夏は感染症が増える季節

- ・高温多湿で細菌・ウイルスが増えやすい
- ・汗・皮脂で手指衛生の質が低下する
- ・夏休み、お盆期間の家族の帰省等で接触機会が増える



夏は「いつも通り」が通用しない！

手指衛生・環境整備・皮膚の管理を徹底し、感染症の拡大を防ぎましょう

夏の感染重点対策3つ

① 手汗対策 手指衛生



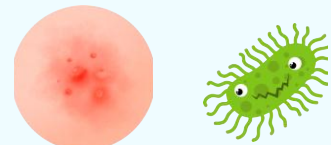
- ・手汗は拭いてから手指消毒
- ・乾くまでしっかり擦る
- 指先・親指の擦り残しに注意

② 環境清掃



ドアノブ・手すり・ベッド
周囲など高頻度接触部の清掃

③ 皮膚トラブルの 早期対応



皮膚バリアが壊れると、細菌が
入りやすい

夏に流行する主な感染症

- ・手足口病：接触で広がりやすい
- ・ヘルパンギーナ：高熱が出やすい
- ・咽頭結膜熱(プール熱)：タオルの共有、手指衛生不良で拡大
- ・新型コロナウイルス感染症：無症状が多いので、知らない間に広がりやすい



家庭や地域の流行は
施設や医療機関にも影響

夏の虫が媒介する 感染症



- ・デング熱(ヒトスジシマカ)
- ・日本脳炎(蚊)
- ・SFTS(マダニ)
- ・とびひ(虫刺され→掻く→細菌感染)

予防

- ・虫よけ剤
- ・肌の露出をしない
- ・白っぽい服装にする
- ・水たまりを作らない(蚊の発生源)

